

安定した下水道サービスの提供のため、古くなった送泥管を更新します ～今年度から新たな路線に着手～

下水道は市民生活を支える重要なインフラであり、安定した下水道サービスを継続的に提供する必要があります。そのため、重要な下水道施設の1つである「送泥管」の更新を順次進めており、今年度から北部第一水再生センター（鶴見区）と北部汚泥資源化センター（鶴見区）を結ぶ送泥管の更新に着手します。

1 送泥管とは

家庭や事業所などで使った水は、下水道管を通じて水再生センターに流入し、微生物の働きなどによりきれいな水に再生して、川や海に放流しています。下水処理の過程で発生する下水汚泥（泥状の物質）は、南北2箇所の汚泥資源化センターへ圧送し、集約して処理をしています。

「送泥管」は、下水汚泥を水再生センターから汚泥資源化センターへ圧送するパイプラインであり、重要な下水道施設の1つです。



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

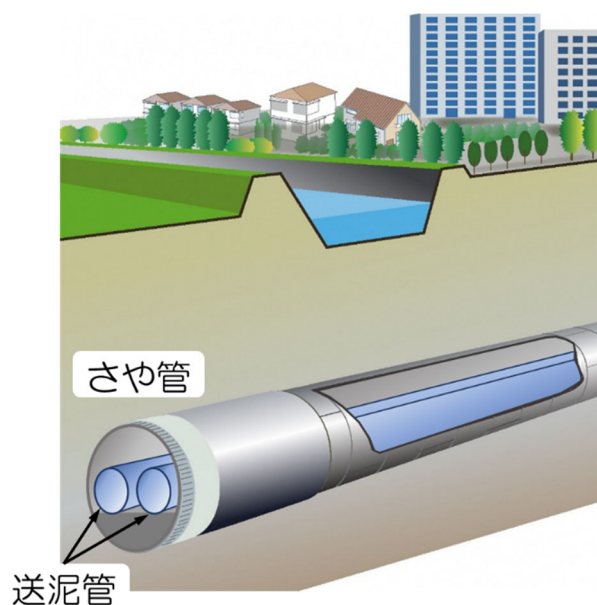
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

2 送泥管の更新について

本市の汚泥集約処理は平成元年に始まり、35 年以上が経過しています。送泥管は下水処理の安定した運転を継続するための重要な役割を担っているため、使い始めてから 30 年以上経過したものを対象に順次更新を進めています。

3 新たに更新に着手する送泥管

布設後 35 年以上が経過している北部第一水再生センターと北部汚泥資源化センターを結ぶ送泥管の更新に今年度から着手し、令和 18 年度の供用開始を目指します。新たに送泥管専用のさや管をシールド工法で整備し、その中に新しい送泥管を2路線設置します。



送泥管専用さや管イメージ図

お問合せ先

<送泥管の計画に関すること>

下水道河川局マネジメント推進課担当課長 中村 大和 Tel 045-671-2613

<送泥管の工事に関すること>

下水道河川局管路整備課長 石田 隆二 Tel 045-671-2814



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

